

支所だより

各総合支所管内での身近な出来事や話題などを毎月お知らせするコーナーです。

東予総合支所

〒799-1394 周布349番地1 TEL0898-64-2700 FAX0898-65-4363

「わあ～きれい！ まるで黄色のジュータン」

《楠浜菜の花会》



黄色いジュータンのような菜の花畑

国道196号、東予運動公園入口付近を北（今治方面）に車で走っていると黄色のジュータンを敷き詰めたかのように辺り一面、黄色一色となった景色が目に入ってきます。

この地域の春の風物詩となっている菜の花畑。毎年稲を刈ったあとの2haの田を利用して、地元「楠浜菜の花会」の皆さんがボランティアで栽培しており、昨年10月ごろ種をまき、除草作業などの世話を続け、2月頃に見頃を迎えます。会の代表である茎田利正さんは、「菜の花栽培を始めてから今回で8年目になります。種まきなどいろいろ

な作業は大変だが、住民有志が力を合わせて育ててきた満開の菜の花を見て、皆さんが笑顔になってもらえればそれで苦労は報われます。大勢の人に見てもらってまちづくりの輪がもっと広がってほしい」と語ってくれました。

今では松山や新居浜などの市外から訪れる人も多くなり、ちょっとした観光名所となっています。

今年は開花の時期が遅かったため3月下旬ぐらいまで楽しむことができます。晴れた日は眩しさのあまりサングラスが必要かも・・・？

皆さんも東予運動公園や今治方面へお出掛けの際は、ぜひ一度立ち寄ってみてください。ただし、国道沿いで交通量が多いので事故にはくれぐれもご注意を。



草取りの様子

丹原総合支所

〒791-0592 丹原町池田1733番地1 TEL0898-68-7300 FAX0898-68-4769

「土のめぐみ」～ふるさと丹原の味を全国へ～

西条市生活研究協議会丹原支部では、6グループ、32名の会員が、各自が作ったこだわりの農産物や自慢の加工品を集め「土のめぐみ」として全国へ発送しています。

「土のめぐみ」は、ふるさと丹原の味と香りをお届けしようと平成8年から取り組みを始め、毎年夏と冬の2回、会員の温かい真心も一緒に詰め合わせ発送を続けています。

夏便にはじゃがいも、坊ちゃんかぼちゃ、玉ねぎといった新鮮野菜をはじめ、筍の水煮、柿ようかん、キュウリの辛子漬、梅干など、愛情たっぷりの加工品が盛り沢山。

冬便では、白菜、里芋、大根、あたご柿などの季節の野菜や果物をはじめ、白餅、手作り味噌、そして丹原伝統のしめ飾りなど、季節を感じながら「ふるさと丹原の味」をお楽しみいただけます。

食の安全を脅かすニュースが報道される昨今、同支部ではより良い商品をお届けし皆さまに喜んでいただけるよう、土づくりから生産・出荷に至るまで、安全・安心・おいしさをモットーに、日々研究を重ねています。

季節を感じる事が少なくなった都会の方々へのお中元やお歳暮にご利用いただければ、きっと喜ばれますよ。



▲郷愁を誘う「土のめぐみ」



▲真心も一緒に詰めています

小松総合支所

〒799-1198 小松町新屋敷甲496番地 TEL0898-72-2111 FAX0898-72-4048

まちづくりは地域の人づくりから

《明日の北川を考える会》

今年も小松町内では小正月の行事・とうどさんが行われました。以前は多くの自治会で行っていた行事ですが、近年稲わらの確保が難しいことなどもあり、規模縮小や中止する地区が増え、町内では岡村、南川、北川、妙口原、妙口上下の5地区にしか残っていません。その中で、平成7年に約40年ぶりにとうどさんを復活させた北川地区の「明日の北川を考える会」の皆さんにお話をうかがいました。

「この会は、地域の20代から50代の人が集まり、地域の親睦、伝統文化の継承や環境保護を目的として平成5年に設立されました。主な活動としては、近くにある中山川土手の河川清掃（年2回）、地区の全戸を回る資源ごみ回収（2カ月に1回）、だんじり運行やとうどさんなどを行っ

ています。会が発足してからは地域の人と顔をあわせる機会も増え、世間話から地域の問題などを話し合うきっかけにもなっています。そのため、以前は顔見知り程度の付き合いしかなかった人も、今ではみんな仲良く地域全体が団結していると感じます。

今後も次世代を担う子どもたちと一緒に活動が続けることで、後継者を育てていきたいです」と話されました。

地域の親睦が人と人をつなぎ、活動を通じて人づくりが進み、育った人々が新たにより良い地域づくりに関わっています。この地域づくりと人づくりのつながりが、大きなまちづくりの一步となるのではないのでしょうか。



▲北川地区でとうどさんの様子